GA算出に向けて

【GAの計算に必要なデータ】

* 債務者毎の貸付金額，回収率（平均，分散），満期，倒産確率が必要
  + 本論文では，回収率を確率的なものとしており，ＧＡの式の中では平均と分散が必要となる．なお，Credit Risk+においては確定的なものとして取り扱っており，IRBでは以下のように設定している．

また，分散についてはCP2でパラメータを用いて以下のように設定している．

* + 倒産確率について，本論文においては財務データから推計している．

<http://citeseerx.ist.psu.edu/viewdoc/download;jsessionid=F14491089A59A468AB8782C44EC7B1DE?doi=10.1.1.119.770&rep=rep1&type=pdf>

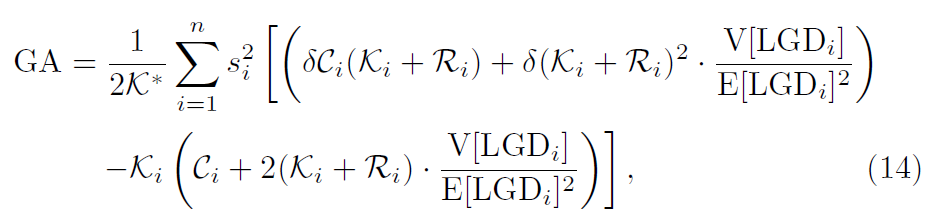
* 正則パラメータ,,
  + CP2では，としている．
  + CreditMetricsやKMV Portfolio Managerではとしている．

【追加調査が必要な点】

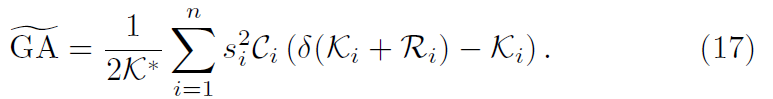
* Credit Risk+，IRBでの回収率平均値の取り扱い
* 倒産確率の推計方法
* CP2での回収率分散の算式
* CP2における正則パラメータの設定理由
* CreditMetricsやKMV Portfolio Managerにおけるの設定理由

【参考】

●exactGA



●近似GA



●実装方法

